

# 課題整理

## 模試の結果データより指導のポイントとなる時期を抽出

下記の表は、進研模試のデータで、1年生から2年生にかけて成績変動が起こりやすい時期と、その時期の生徒の特徴や、指導のポイントをとまとめたものである。

「進研模試の実施時期と成績変動」の欄は、2009年度の1年生総合学力テスト7月から10年度の2年生総合学力記述模試1月を全回受験した生徒、27万2683人のデータを基に、偏差値帯別の成績変動を調べたものだ。前回の模試から偏差値が5ポイント以上上がった生徒の割合を「UP」、5ポイント以上下がった割合を「DOWN」、変動が5ポイント内だった割合を「KEEP」として表した。

データを見ると、成績変動が起こ

生徒の成績変動はどの時期に起きやすく、どのような対策が考えられるのだろうか。現行課程での実態と指導を整理し、新課程における指導の流れを考える。

# 成績変動期に着目して指導の見直しを

1年生							行事																				
10月	9月	8月	7月	6月	5月	4月																					
・中間考査 ・文化祭	・始業式 ・スタディーサポート	・夏休み	・終業式 ・期末考査	・高校総体 ・高校総文祭	・体育祭 ・中間考査	・入学式 ・スタディーサポート	進研模試の実施時期と成績変動																				
			・総合学力テスト7月																								
<b>1年生7月→11月</b> <b>3教科(国語・数学・英語)</b> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"><b>英語</b></td> </tr> <tr> <td>SS60~70</td> <td>SS50~60</td> <td>SS50~60</td> <td>SS50~60</td> </tr> <tr> <td>UP 8.2%</td> <td>UP 12.8%</td> <td>UP 16.5%</td> <td>UP 16.5%</td> </tr> <tr> <td>KEEP 70.8%</td> <td>KEEP 71.9%</td> <td>KEEP 58.6%</td> <td>KEEP 58.6%</td> </tr> <tr> <td>DOWN 21.0%</td> <td>DOWN 15.3%</td> <td>DOWN 25.0%</td> <td>DOWN 25.0%</td> </tr> </table> <p>中位層で英語の成績変動が大きい</p>									<b>英語</b>		SS60~70	SS50~60	SS50~60	SS50~60	UP 8.2%	UP 12.8%	UP 16.5%	UP 16.5%	KEEP 70.8%	KEEP 71.9%	KEEP 58.6%	KEEP 58.6%	DOWN 21.0%	DOWN 15.3%	DOWN 25.0%	DOWN 25.0%	生徒の状態
		<b>英語</b>																									
SS60~70	SS50~60	SS50~60	SS50~60																								
UP 8.2%	UP 12.8%	UP 16.5%	UP 16.5%																								
KEEP 70.8%	KEEP 71.9%	KEEP 58.6%	KEEP 58.6%																								
DOWN 21.0%	DOWN 15.3%	DOWN 25.0%	DOWN 25.0%																								
<ul style="list-style-type: none"> <li>学校行事が多く、学力面での差が目立ち始める</li> <li>文理選択を控え、科目選択に悩む</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>全国模試の難易度に戸惑う</li> <li>夏休み中の学習が計画通りに進まずに焦る</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>新しい環境で向上心に満ちている</li> <li>授業の進度や学習と部活動の両立に不安を感じている</li> <li>5月の連休明けは疲れが出始める</li> <li>部活動が本格化すると、苦手科目が出始める</li> </ul>																							
<ul style="list-style-type: none"> <li>行事後は学習に気持ちを切り替えるためのガイダンスなどを行う</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>夏休みの学習を計画的にするよう指導</li> <li>夏休み中に学習から離れないよう、補習や課題を通じて生徒の学習を支援する</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>面談やスタディーサポートなどを使い、生徒把握を行う</li> <li>高校の学習スタイルの定着、家庭学習時間の確保</li> <li>中間考査前後の指導。結果につながる学習計画の立て方を伝える。振り返りを通して、学習習慣の重要性を再度認識させる</li> </ul>			指導のポイント																				
<ul style="list-style-type: none"> <li>中学での「学力貯金」を使い果たし、成績が崩れる生徒が出始める。こまめな声掛けやアドバイスにより学習習慣を再徹底させる</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>文理選択のガイダンスや調査を通して、進路意識を高め、学習習慣を定着させる</li> </ul>																									
<p>新課程でより重要になる指導ポイント【P.8 座談会より】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校の学習習慣の定着</li> <li>・丁寧な生徒把握</li> </ul>																											

\*3学期制の一般的な学校行事を想定して作成  
\*成績変動の表は、各時期で特徴的な変動数値を示しているものを抽出して記載

りやすい時期は大きく二つあった。一つは1年生7月から11月にかけてで、特に成績中位層の英語の成績変動が大きい。一定の学習量が必要となる高校での学習方法に転換できただかどうか、成績に表れているといえそうだ。新課程では、この傾向が加速する可能性もあり、導入期指導での学習習慣の定着が今まで以上に鍵となるだろう。

もう一つは1年生1月から2年生7月模試にかけての時期で、成績中・上位層で成績変動が目立った。学校との接点が少なくなりがちなこの時期は、期末考査後に指導の目線合わせをするなど、次の学年に向けて「切れ目のない指導」を行うことが重要になりそうだ。

2年生から文理に分かれる場合、生徒が苦手教科から「逃げ」ることによって成績の下降につながっていることも考えられる。新課程で数学や理科の学習内容が増えることを考えると、文系生徒の数学や理科の指導方針について目線合わせをすることはより重要になるだろう。

2年生								
7月	6月	5月	4月	3月	2月	1月	12月	11月
・終業式 ・期末考査	・高校総体 ・高校総文祭	・体育祭 ・中間考査	・始業式 ・スタディーサポート	・卒業式 ・終業式 ・春休み	・高校入試 ・学年末考査	・始業式	・終業式 ・期末考査 ・文理選択	
・総合学力テスト7月						・総合学力テスト1月		・総合学力テスト11月

  

<p><b>1年生1月→2年生7月</b></p> <p>3教科(国語・数学・英語)</p> <p>SS60~70      SS50~60</p> <p>UP      7.2%      UP      7.5%</p> <p>KEEP      66.9%      KEEP      71.3%</p> <p>DOWN      25.9%      DOWN      21.2%</p> <p>中・上位層で成績変動が目立つ</p>	<p><b>1年生11月→1月</b></p> <p>3教科(国語・数学・英語)</p> <p>SS50~60</p> <p>UP      12.7%</p> <p>KEEP      76.6%</p> <p>DOWN      10.7%</p> <p>現状維持の生徒が多い</p>
--	--

  

<ul style="list-style-type: none"> <li>5月の連休で学習習慣は乱れがちになる</li> <li>高校総体後は部活動の中核になり、学習よりも、部活動に集中する生徒も出てくる</li> <li>進路意識が二極化し始める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2年生に向けて前向きな気持ちに。学習面で仕切り直そうという意識を持つ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業日が少ないため、学校の学習から気持ち離れがちになる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文理選択が終わり、進路意識は高まる。一方で苦手科目を諦める生徒も出始める</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>オープンキャンパスなどで、進路意識を高め、学習を先送りさせない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年生よりも緊張感が持続しにくいいため、中間考査やスタディーサポートを利用し学習にしっかり向かわせる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行事が少ないことを利用し、2年生に向けて学習の見直しを図る。苦手分野の克服にも着手させる</li> <li>3年生の入試状況を伝え進路への動機付けを行うと共に、授業が入試につながっていることを意識させる</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>文理に分かれても全教科まんべんなく学習させる指導を継続する。特に私立大文系志望の生徒に数学を諦めさせない指導が重要になる</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>文理選択を利用し、生徒の意識を将来に向けていく</li> </ul>

  

**新課程でより重要になる指導ポイント【P.8 座談会より】**

・学習面、進路面でのモチベーションの維持・向上